

2023年8月30日

報道関係各位

下地島エアポートマネジメント株式会社

みやこ下地島空港ターミナル 累計旅客数が 100 万人に到達

みやこ下地島空港ターミナル（沖縄県宮古島市）の累計旅客数が、100 万人に到達しましたのでお知らせいたします。本施設は 2019 年 3 月 30 日に開業し、4 年 5 カ月目となる 2023 年 8 月 22 日を以て、旅客数が 100 万人を超えました（※1）。みやこ下地島空港ターミナルの運営会社である下地島エアポートマネジメント株式会社（以下、「SAMCO」）はこれを記念し、8 月 30 日、宮古島市、宮古島観光協会と共に到着旅客を対象とした歓迎行事を実施しました。

（※1）幼児・無償旅客を除いた旅客数

SAMCO は、本施設を所有する三菱地所株式会社（以下、「三菱地所」）と共に、沖縄県や宮古島市、沖縄観光コンベンションビューロー、宮古島観光協会、宮古島商工会議所ほかとの協働のもと、路線誘致活動を進めております。2020 年以降は新型コロナウイルスの影響で一部の路線に運休・減便等があったものの、現在は成田路線（ジェットスター）、羽田・神戸・福岡・那覇路線（スカイマーク）、香港路線（香港エクスプレス）の計 6 路線が定期路線（※2）として運航しています。

特に下地島—羽田路線は、2022 年 3 月 27 日から 2023 年 3 月 25 日まで、国土交通省による「羽田発着枠政策コンテスト」の評価対象期間であったことから、SAMCO もメンバーの一員である下地島空港活性化協議会は、関係各所と協働し地域活性化を目的とした様々な取り組みを行ってまいりました。

その後正式に羽田発着枠の配分が決定したことに加え（※3）、水際対策の緩和に伴う国際線運航も期待されるため、今後もさらなる旅客数増が見込まれています。

（※2）うち那覇路線は 1 日 2 往復、それ以外は 1 日 1 往復。福岡路線は 2023 年 7 月 1 日～8 月 31 日の期間限定運航。香港路線は運休中。

（※3）配分された羽田発着枠の運航期間は 2025 年 3 月 29 日まで

SAMCO と三菱地所は、今後も旅客をはじめ地域住民にも親しまれる施設を目指し、また宮古諸島のさらなる経済振興に貢献できるよう、関係各所との連携をさらに強め、地域一丸となって路線の利用促進や内外の交流人口拡大による地域活性化を図ってまいります。



▲利用客数 100 万人を記念し、到着客にノベルティを配布（2023 年 8 月 30 日）

■「みやこ下地島空港ターミナル」について

開業日：2019年3月30日

所在地：沖縄県宮古島市伊良部字佐和田 1727 番地

敷地面積：32,586 m²

規模・構造：RC造+CLT造・地上1階建

主要施設：チェックインカウンター数12箇所、搭乗ゲート3箇所、到着ロビー 国際線・国内線各1箇所、飲食店2店舗、物販店3店舗（免税店含む）、レンタカー受付カウンター、ATM

